レールギプス

日之出水道機器（株） 共同開発品

30kg、37kgレール造の構造体の補強材、補修材

開発経緯

古レールを柱や梁に使用した旅客上家は、過去の地震においてプレート等が取り付けられた溶接部近傍でレール材の破断が確認されています。従来の補強・補修工法では、鋼板巻き・モルタル充填・通しボルト等が必要であり、コスト増・工期の長期化の要因となっていました。そこで、無溶接で施工可能な取付金物『レールギプス』を開発しました。

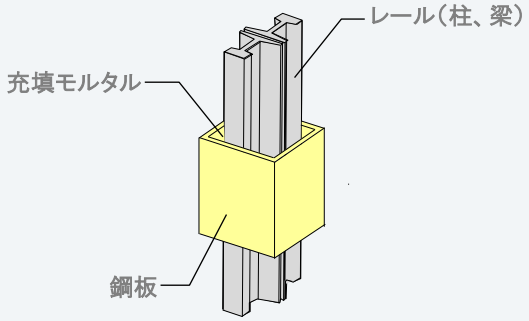


常磐線　小牛田駅
東日本大震災で柱(柱脚付近)破断

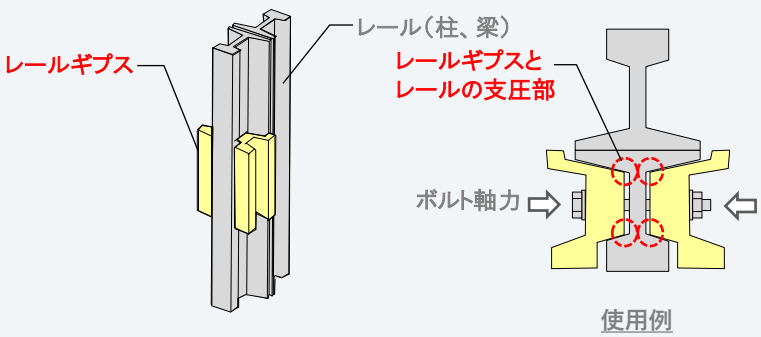


磐越西線　会津若松駅
東日本大震災で柱(接合部付近)破断

開発前



開発後



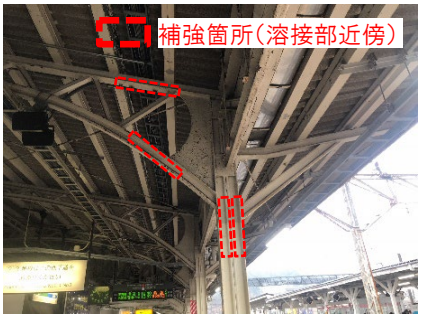
使用例

特長

（1）鋳鉄製によりレール形状にフィット
（2）高力ボルトによる乾式の支圧接合
（3）柱と梁の両方に使用可能
（4）30kgと37kgレールに対応
➡工期短縮、コストダウンの実現



レールギプス



適用箇所

採用実績

- ＪＲ東日本：土浦駅、水戸駅

知的財産権

- 特許第7029751号

お問い合わせ

お問い合わせ	JR東日本 T&I推進本部 構造技術センター 03-6878-0017(代表) JR東日本 千葉事業本部 設備部 建築技術ユニット 043-284-6777(代表)
製造・販売	日之出水道機器　03-5549-1586

資料提供：東日本旅客鉄道株式会社